

○ 野澤久美子* 小沢直子** 伊藤紀之**

(*共立女子大・院 **共立女子大)

【目的】

近代デザイン運動において重要な役割を果たした 19 世紀中頃のイギリスのデザインの状況を把握することを目的とする。

【方法】

1849 年から 1852 年にかけて刊行された世界初のデザイン誌とされている Journal of Design and Manufactures (以下デザイン・ジャーナル誌) と 1851 年ロンドン万国博覧会のカタログを資料に、解説及び両誌に掲載されている製品の図版を衣食住別に分類し当時の生活について考察する。

【結果】

デザイン・ジャーナル誌では全製品 877 点中 292 点が住生活に関する製品で全体の 33.3% であった。次いで衣生活が 235 点で 26.8%、食生活は 211 点で 24.1% であった。万博カタログでは、住生活が 822 点で全体の 47.1%、次いで食生活が 501 点で 28.7%、衣生活が 231 点で 13.2% であった。両誌とも住生活が最も多く、当時は住居やインテリア等に興味感心が持たれていたことが分った。